

●パート1

●背景：廊下（夕方）

あの一……。

ごめんね？

私、あなたとはつき合えない。

気持ちは嬉しいよ？

嬉しいけど、可愛い顔してるんだから……ね？

佐久間さん、きっと私よりもステキな人と出会えるよ。

（生徒「もしかして……ほかに好きな人、とか？」）

ううん。

好きな人はいないよ。そういう理由でふったわけじゃない。

……とりあえず、友達から始めようか。

もし仲良くなってさ、

佐久間さんから見て相性悪いって思えたら、

別の人を愛していいんじゃないかな。

（生徒「うん……友達」）

友達、いや？

（生徒「そんなことないよ！」）

よかった……♪

じゃあ、あとで連絡先交換しようね？

私、ほかにも呼び出し受けてて。

（生徒「モテモテだね」）

うん。まあね……モテモテなのかな。

（生徒「じゃあね」）

うん。じゃあね。

また明日。

で。

アナタはどうして覗いてるのかな？

(主人公「ご、ごめん」)

謝らないで？

さっきの見たよね。

内緒にしといてくれる？

佐久間さん、あんなに可愛くて美人なのに、
男の人は苦手で、女の子しか愛せないんだって。
でも、私はそういうのもOK。

OKだけど、まだお互いに知らないとつき合えないよね。
断っちゃった。

(主人公「美人カップルになったのに」)

うふふ。

そうだね。美人カップルになれたね。

(主人公「高嶺の花は、誰ともつき合わないんだね」)

ん？ 高嶺の花？

私が？

いやいや。

そんなたいそうなものじゃないよ。私は。

だって恋愛したことないし、
ぶっちゃけると経験人数も一人だけ。

(主人公「そ、そういうの男に言うなよ!」)

うふふ。たしかに男の子に言う話じゃないね。
なんか口走っちゃった。

あ、そろそろ……。

(主人公「まだ告白を?」)

うん。今日はもう一件、告白の順番待ち。
昨日は保健室と教室……あと街でナンパが2件だったから、
まだ昨日よりはマシかな。

(主人公「つき合ってくれないのにね」)

ぶっちゃけ、迷惑ではないよ。
私は、告白してくれるだけで嬉しい。

一緒に手を繋ぎたい、おしゃべりしたい、
デートしたい……セックスしたい。

どんな想いでも、相手の心の中に私がいるって、
なんかステキなことじゃない?

(主人公「下心でもいいの?」)

うん。下心でもいい笑
だってアナタも抜くでしょ? 私で。

(主人公「そ、そういうこと言うなよ!」)

アハハ♪
照れた顔可愛いね。

いいじゃない。
私達、ある意味「つき合ってる」んだし。

さっき言った私の1は、アナタなんだ。

じゃあね。

体育館裏に急がなくちゃ。

明日、教室で待っててね。

今日は出しちゃダメだよ？

精液♪

バイバイ♪

●パート2

●背景：教室（夕方）

おまたせ。

今日の返答、終わってきたよ。

今日は待ちに待った日だね。

これ終わったら部活行くから、

今日はあっさりめでいいよね。

（主人公「忙しいね」）

うん。忙しいけど……バスケは好きだから。

うちのバスケ部、結構強いから私も負けないぞって、気合い入ってるんだ。

じゃ、さっそくだけど……。

ズボン脱いで？

……ところでさ、ひとりでしたりするの？

（主人公「ううん。溜めてる」）

そっか……溜めてるんだ笑
えらいえらい。

わあ……♪
もう勃起してる♪

ありがと。
ちゃんと溜めてくれただけあって、
立派に咲き誇ってるね。

じゃ——
焦らすのも可哀想だから……。

シコシコしてあげないとね。
べ・ろ・で♥

れろ、れろ……んぷ、ちゅ、ちゅう。
んん、ちゅ、ちゅく、ちゅ……。

れろれろれろ……ぷちゅ、ん、ちゅ……。
ちゅ……んんん、ちゅ、ちゅう、ン、ちゅ……。

うふふ……どうかな？
今日のフェラの加減は。

(主人公「顔がいいから、エロい」)

あはは……顔がいいからエロい？
なあにそれ……笑
それなら、私がフェラチオしてる顔がオカズだね。
いいよ？ 見てても。

れろれろ、んぷ、ちゅ……ちゅ、ちゅうう。
ちゅ……んん、ちゅ、ちゅうう、ちゅ。
見られて勃起されて……、
それで……私も昂ぶるんだ……♥

れろれろ、ぷちゅ、ちゅうう、チュッ。
んん、ちゅ、ちゅ……ちゅる、ちゅうう、ちゅ。

(主人公「あの美人がこんなフェラを……」)

うふっ……♪
美人？ 褒めてくれてありがと……♪
美人だって、おちんぽくらい舐めるよ……♥

れろれろれろ、ぷちゅう、ちゅ……。
ん、ちゅ、ちゅう、ちゅ……ちゅ、ちゅうう。

私ね？ 自分が好きなの。
だから、誰も好きになれない。
自分が好きで……れろ、れろ、んむちゅ、ちゅ、ちゅ。

こうやって、おちんぽ舐めてる自分のはしたなさを、
俯瞰で見てる想像をしてるの……♥
そうすると……性癖、刺激されるんだ♥

(主人公「変わってるなあ」)

変わってるなんて言わないでよ……笑
お互い様でしょ？
アナタだって、つき合ってもない女の子に、
おちんぽ舐められて喜んでる。
普通ではないよね？
うふふ。

れろれろれろ、ぷちゅ、ちゅうう、ちゅ、ちゅううう。
んん、ちゅく、ちゅ……ちゅううう、ちゅ。

んむ、ちゅ……ちゅ、ちゅ……んん、ちゅ。
よだれたらしながら、おちんぽを舐める……♥
れろれろれろ……ああ、私ってこんなスケベな顔で舐めてるんだって、

想像すると……れろ、れろ、んん、ちゅ、それが、夜、自慰をする時のオカズ……♥

れろ、れろれろれろ……ッ、ちゅ、ちゅうう。
こうして――

タマタマを揉んでる私も……そそるよね♥
れろれろ……ちゅ、ちゅうう、ぺろぺろ亀頭を舐めて、
片手でタマタマを揉んで……もう片方の手で、おちんぽの竿を握ってる……♥

はあああ……♥
エッチっていいね……♥
エッチがなきゃ、私は私を好きになれてない……♥

れろれろ、ぷちゅ、ちゅ、ちゅう。
んぷ、ちゅ、ちゅうう、ちゅ……んん、チュッ。
ふう、ふう、んん、ちゅ、ちゅく、ちゅううう。

ちゅ……んぷんん、ちゅ……ちゅ……ッ。
ふうう、んん、ちゅ、ちゅく、ちゅる、ちゅ……。
でも、アナタは竿よりもおっぱいいじられる方がいいよね？

れろれろれろ、ぷちゅ、ちゅく、ちゅ、ちゅうう。
んんん、ちゅ……ちゅ、んんん、ちゅぷ、ちゅ。

乳首、触ってあげる♥
れろれろれろ、ぷちゅ、ちゅ。
んん、ちゅ、ちゅ、私も触られるの好き。
だからわかる。
乳首いじられるのって、気持ちいいよね。

れろれろれろれろれろ……。
ちゅうう、ちゅ、んん、ちゅ、ちゅくう。
ちゅ……ちゅむ、ちゅ……。
うふっ……こっちも勃起してきちゃったね。

れろれろれろッ。

ちゅ、ちゅくうう、ちゅ、ちゅううう。
んん、ちゅ、ちゅ……チュッ。
ここ、教室だよ？

れろれろれろッ、ぷちゅ、ちゅううッ。
んん、ッ、ちゅ、ちゅむ、ちゅ……ッ。

教室で乳首とおちんぽを勃たせてるのなんて、
アナタくらいだね。

れろれろッ、ぷちゅう、ちゅ、ちゅううッ。
んんん、ちゅ……ちゅる、チュッ、チュッ。
んぷちゅ、ちゅ、ちゅ、んんん、ちゅ。

(主人公「出る」)

あ、イク？
いいよ。
部活の日はスッピンだから、
遠慮なくかけちゃって？

(主人公「飲んでくれないの？」)

うふっ……飲んでほしいんだ？
私、喉に絡むと咳出ちゃうんだ。
だから――

れろれろれろれろれろおおッ。
ぷちゅうううッ、ちゅ、ちゅくうううッ。

出して？
ザーメン♥

ちゅぶぶ、デュッ、ちゅるるるッ。
れろれろッ、ぷちゅうう、ちゅ、チュッ、んんむうううッ！
さあ、イッて♥

おちんぼ出してッ♡

ちゅう~~~~~ッ！

ンンッ！

あふう……ッ！

ん、んくう……んッ！ はあ……はあ……ッ！

たくさん……かけられちゃった。

んふ……ん、んう……。

はあ……はあ……相当、溜まってたみたいだ。

ふう……んう、ん……。

ああ……♡

いまの私、どんな顔……？

ちゃんと、スケベに映ってるかな？

(主人公「エロいよ……犯したくなる」)

うふふ。

犯したくなるんだ？

よかった……♡

私も……ディルド使って、自分をわからせなくなっちゃうよ……♡

はあああ……♡

全部出た？

れろれろれろれろれろ。

ぺろおお、ぷちゅ、ちゅうううッ。

ザーメン、美味しいね♡

今日食べたパンよりもずっと。

(主人公「偏食家だ」)

アハハ。

偏食家、かあ。

面白いこと言うね。

おっと……！

危ない。

おちんぼしゃぶった口でキスするところだった……笑

じゃ、顔洗ってから部活行くよ。

そっちももう帰るんでしょ？

(主人公「うん。バイトあるし」)

バイトかあ。

頑張ってるね。

じゃ、セフレ君。

また明日。

●パート3

●背景：図書室（夕方）

彼は――

いた。

やつほ。

ここ図書室だよ？

本読むなら座ればいいのに。

(主人公「この方が読みやすいんだ」)

へえ。まあ、読みやすい姿勢は人それぞれだよな。

私もスマホいじるとき座ってないといじれない。

それと同じようなものかな。

(主人公「今日はどうしたの?」)

今日?

ああ、今日も告白されたよ。

びっくりしたよ?

男の子のひとりに告白されてさ、

「僕の童貞を貰ってください」だって。

うふ。

こんなストレートな告白、中々ないよね。

(主人公「返答は?」)

さすがに受けないよ。

私は誰ともつき合わないの。

それに、処女っぽく振る舞ってるのに、

童貞を貰ってくれる女だと思われるのは心外かな。

私にとっての真葉癒子（まなはゆこ）は誰とも噂の立たない、
恋愛してる姿の想像できない女の子なんだ。

(主人公「オカズにされるのは?」)

ふふ、オカズは大歓迎。

想像するのは自由だから。

私も私をオカズにしてるから、

みんなで共有すればいいんだよ。

今日は、ここでいい?

ストレートな告白されたら、

ちょっと昂ぶっちゃったんだ。

れろれろ、れろ……ぷちゅ、ちゅ、ちゅう。

んむむ、ちゅ……れろ、れろ、れろ……。

ちゅく、ちゅ……ちゅ、ちゅうう、ちゅ。

んん、ちゅ……ちゅ……れろ、れろッ。
ちゅ、ちゅ、おちんぼ、出して？
ちゅ、ちゅ……ちゅる、ちゅ……。

ちゅ、ちゅう、ちゅ、ちゅ。
ちゅ、ちゅうう。

まだ半勃ちだね。
れろれろ、ちゅ、ちゅうう、ちゅ。
ちゃんと、興奮させてあげないと。
フル勃起してね？

れろれろれろれろッ、ちゅ、ちゅう。
ちゅ、ぷちゅ、ちゅ……。

ちゅ、ちゅうう、ちゅ。
んん、ちゅ、ちゅる、ちゅ……ちゅ、ちゅ。

あ、声は出さないでね？
ちゅ、ちゅう、ちゅ、ちゅ……。

(主人公「噂立てたくないくせに……ここですかよ」)

うふふ……コソコソするから気持ちいいんだよ。
たしかに、噂は立ってほしくないけど、
でも……みんなが告白してくれる真葉癒子（まなはゆこ）が、
いつ人が来るかもわからない図書室の隅っこで、
おちんぼ丸出しの男の子の耳を舐めてる……♥

これだけでも……私はそそるな♥
れろれろ、ちゅ、ちゅく、ちゅ……ちゅううう。
ちゅ……んん、ちゅ、ちゅううう、チュッ。

ちゅ、んぷ、ちゅ、ちゅ、ちゅう。
あ……♥
やっと、ギンギンになってきたね……♥

ふう……。

今日は……入れよ？

コンドーム持ってきた。

セフレ君のおちんぼ、今日はお迎えしてあげたくなっちゃった。

ここで、いいよね？

ちゅむ、ちゅ……んぷ、ン、ちゅ。

ちゅ……ちゅ……んん、ちゅ……ちゅ……。

(主人公「なんで、俺とセフレに？」)

ん？ ふふ、いまさらセフレにした理由知りたいの？

そんなの決まってるよ。

気持ちいいから……♥

……コンドーム、着けるね。

うふふ。

そっちからしたら……もっと回数増やして欲しいかな？

おちんぼお迎えの日。

(主人公「ダメなの？」)

うふふ。ダメじゃないよ？

ダメじゃないけど……回数減らした方が、

ムラムラするでしょ？

はい。できた♥

それに、回数少ないからこそ……、

私とエッチできることが大事に思えるはずだよ。

一回一回を大事にしてね？

ちゅっ、ちゅ……。

今日は動いてね？

後ろから……。

好きでしょ？ この体位。

コンドームつきのおちんぼ……、
入れたくて仕方ないって雰囲気だね。

ここに来るまでに期待で濡れちゃった。
すぐ入ると思うよ？
狭いけど。

んあ……ッ♥
あ、はあ……はあ……ん、ん、ん……。

はあああああ……♥
んくッ、ん……んんう……。

あ、ああ……♥
はあ……はあ……っ。
おちんぼ、お迎えしちゃった……♥
セフレ君のおちんぼ、気持ちいいね。

私のおまんこはどう？
おちんぼ、締めつけられてるかな？

(主人公「我慢できない……」)

興奮してるんだ？
うふふ……いいよ。
音に気をつけながら、私を犯してよ。

んっ……！
ん、はあ……あ、ああ……♥

んくッ、ん、んう……はあ、はあ……あ、ああ、ん、んく。
ン……ふうう、ん、んう……あ、ああ……。

おちんぼのサイズ知らずに、セフレにしちゃったけど……、
私の感、正しかったなあ。

アナタのおちんぼも、セックスも、私と相性がいい。
真葉癒子（まなはゆこ）が、はあ、はあ……気持ちよさそうに喘げるんだ♥

ん、んう……はあっ、あ、んく、ん……ッ♥
ふううう、ん、んく、ん、んううう、ん、んッ。

はあっ、ん、んくッ、んっ。
おっぱいも、自由にしていいいよ？

はあっ、ん、んく、ン……。
セフレという契約はね、
セックスに限り、相手を自由にしていって解釈してるの。

んく、んッ、だから、セックスの時は、
私を独り占めしていいよ？
それが、セフレ君になったアナタの特権……♥

はあっ、ん、んう……ッ。
ん……ッ。
そう……っ♥ 自由に、揉んで？
はあ、はあ……んう、優しく、撫でる感じでね。
ん、んっ、雑にもむと、ブラのワイヤーが伸びて、
壊れちゃうから。

ん、んう、うふ、現実突きつけちゃった。
ん、んうう、ン、でも、ブラって高いから、
その辺り覚えておくと、彼女できた時にも配慮できるよ。

はあ、はあ、んん、くっ、ん……。
んんんッ……んん、ッ、ん、んう、ん、ん……。

はあ、はあ……ッ、もっと早く動いて？

(主人公「でも、音が……」)

音？ ううん、早く動かないと終わらないよ？
それとも、誰かに見られたいの？

アッ♥ うふふ、気合い入った？

あ……♥

ちゅ、ン、ちゅ、ちゅう、ちゅ……ッ♥

はああっ♥

キスされちゃった……♥

はあ、はあ……ッ、キスって、いいね。
ん、んく、男の子も、キスすると反応するよね。
私は、アナタしか経験ないけど、
友達の彼氏が、キスで勃起するって……♥

はあ、ん、んくう、ン、女の子は健全な愛を求めているのに、
男の子にとっては愛撫同然。

私にとっても、愛撫だけだね。
キスすると……おまんこキュッとするでしょ？
うふふ。

ん、んう、ンッ、はあ、はあ……ッ。
ん、んく、ん……はあ、ん、んう、ンッ、アアッ、ん、んう。

ああッ、ん、んくッ、キスしてから、
感度あがったね……。

私が締めてるのか、アナタが勃起したのかわかんないけど……、
ん、んうッ♥ アッ、んう♥
絶頂まで近づいたね……♥

はあ、はあ……んく、んう、んうううッ♥
はあ……あああ、んく、ん、んう……ッ。

ふう、んん、んく、ん……ッ、ん、んっ。
はああ……あ、ああ、んく、ん……ッ、ん……♥

イカせて？
おちんぽでイキたい……♥

(主人公「声、気をつけてよ？」)

うん。声気をつける。
だから……お願い♥

ああああ……ッ♥
んんん、くっ、ん、んう～～……ッ♥

ああああッ、はあああ、んく、ん、んううッ。
アッ、う、んううう、ん、ん、んうううッ♥

気持ちいいっ……ああッ♥
おまんこの中が、ぐちゅぐちゅにッ、濁って……あ、あああッ♥

はあ……はあ……んく、んうううッ♥
はあ、あ、ああッ、んんんん、んッ♥

イカせて……っ♥

真葉癒子（まなはゆこ）は、私とアナタしかイカせられない女だよ♥
はあっ、はあ、私よりも上手にイカせて♥
さあッ♥
イカせてええっ♥♥

ンあああああ……ッッ♥
ああああっ♥

出てるね……♡

アッ、ああ、コンドームの先端に……ッ、
勢いいっぱいに、精液が出てる心地が……♡

あああ……っ♡

はああ、はああ、はああ……あ、ああ……♡

んッ♡

ああ、それいいね……♡

ンンン……ッ！

はあ……はあ……んく、んうう、ん……♡

はあ、あ、あああ……んく、ん……♡

終わった？

はあ……ん、ン……全部、出終わっちゃったね。

んううう……ッ♡

はあ～……♡

最高だったよ。

終始、ドキドキしたね。

ふう～……。

バレずに終えられたね。

……あ、おちんぼ貸して？

コンドーム、私が処理する。

わぁ♪

こんなに発射したんだ。

エロいね。

まさか真葉癒子が精液入りコンドームを包んだティッシュ、
ポケットに入れてるなんて誰も思わないよね。

気持ちよかったよ♡

ちゅ、ちゅむ、ちゅ。
ありがとう。
また、セックスしようね。

●パート4

●背景：屋上（夕方）

お邪魔、だったかな？
屋上は立ち入り禁止なのにね。
さっき、女の子に告白されてたでしょ？
ダメだよ。場所はちゃんと選ばないと。

あの子は……同じクラスの子？
モテるんだね。
盗み聞きしちゃってごめんねだけど、
こないだアナタも聞いてたからお互い様でしょ？
で、どうして返答しなかったの？

（主人公「ちょっと悩んでて」）

可愛かったのに。
あの子、テニス部でしょ？
他校でも人気あるって聞くよ。

そんな子を独占するチャンスだったのに。
返答はすぐにした方が心証いいよ？

（主人公「癒子は？」）

私？
私はただのセフレだよ。
そっちが彼女持ちになるなら、
また別のセフレを探すかな。

私にとって恋愛感情ってよくわからないんだ。
だからセフレはつねに欲しいかな。

(主人公「どうしよっかな……」)

悩むんだ？
ふうん……。

(主人公「そりゃあ、おっぱいデカイし……」)

うふふ……。
たしかにあの子、おっぱい大きいね。
たぶん処女だろうし……、
アナタの理想のセックス、できるだろうね。

……でも。
気に食わないなあ……。
恋愛感情はないけど……、
私以外を抱きたいって思われるの。
なんだか気に食わない。

(主人公「し、嫉妬？」)

嫉妬なのかな。
ちょっと違うと思う。

前々からアナタの好みとかは聞かされてたし、
その都度、なにか感情が動くなんてなかった。

だからこれはただの性欲。
真葉癒子よりもほかの子に興奮されるのが気に食わないのかも。

男の子って、新しいもの好きだよな。
気持ちはわかる。

でも、真葉癒子の処女を与えた男性を、
簡単に譲るのは気が引けるかも。

ごめんね？
つき合ってもいいけど、
やっぱりセフレ、辞められないかも。

(主人公「そ、そんなこと言われても」)

うふふ。
なーに？ 私がわがまま言ってるみたいな反応だけど。

アナタはちゃんと、
私に魅了されてくれなくちゃ困るよ。

調教、しよっか？
アナタの性欲に、
私という女が一番エロいってこと、
一生忘れないように刻んであげるね。

いますぐ、
セフレはじめましょ？

●パート5

●背景：屋上（夕方）

さっそくだけど……、
オナニーしてくれる？

これは命令。
たっぷり調教して……私にちゃんと興奮できるようにしてあげる。

(主人公「別にあの子に興奮したわけじゃない！」)

口答えは厳禁。

あの子に興奮してなくたって、
返答に悩んだり、おっぱいの大きさを気にしてたりしてる時点で、
アナタはセフレ失格。

だから、調教。

さ、おちんぼ出して？

そう。偉いね。

半勃起だね。

なんでフル勃起じゃないの？

私がこんな近くにいるのにね。

やっぱり……おちんぼ、わからせるしかないね。

……シコって？

まずはゆっくりと。

竿を握ってしごくの。

いい？

いくよ。

……スタート。

ふふ。シコっちゃったあ。

ここ、学校だよ？

学校でおちんぼ丸出しにして……、

シコシコ♥ シコシコ♥

野外オナニーは気持ちいい？

でも平気かな？ 学校の屋上ってさ……意外と背低いよね。

ほら……、

向こうのマンションから、ここ丸見えだよ。

誰かに見られちゃうかも……。

おちんぼ丸出しにして、女の子の前でシコってる姿……、
奥様たちに見られたらどうする？

AVみたいに発情してくれるのかな？
それとも通報されちゃうのかな？

後者だったら……ご両親に連絡いっちゃうね。
アナタの息子さんは、屋上でおちんぼ勃起させて、
竿をつまんでシコシコ♥ シコシコ♥
ゆっくりおちんぼシコってましたって♥
報告されちゃうね？

(主人公「な、ならどうしてこんなところで……」)

うふ。なんでって……これは調教だよ？
ほかの女の子に性欲抱いちゃったからね。
だから、調教したくなったの。

……さ、命令。
ちょっとだけ、おちんぼを握る力を強めてみて？

うふふ。あまり強く握りすぎちゃダメだよ？
おちんぼが一番気持ちいいのは、
手のひらじゃなくておまんこじゃなきゃいけないんだから。

はああああ。
いい調子。
私も——

れろれろれろ……ぴちゅう、ん、ちゅ、ちゅ。
オカズ、提供してあげる。

れろれろ、ぷちゅ、ちゅ、んん、ちゅ、ちゅううう。
ちゅく、ちゅ……ズズッ、んん、ちゅ、ちゅむ、ちゅ。
ちゅ……ふう、ん、んちゅ、チュッ、ちゅ……。

ちゅくん、ちゅ……チュッ、チュッ。
ぷちゅう、ちゅ、ちゅうう、ちゅ……んん、チュッ。

おちんぼ、少しだけ速度強めてみようか？
少しだけ、ね？

そう、そのくらいでOK。

れろれろ、ぷちゅ、ちゅ、んんん、ちゅ、ちゅくんん、ちゅ。
れろ、れろ、れろ、れろッ、んぷんん、ちゅ、ちゅく、ちゅ。

おちんぼから香ってる。
おまんこを刺激する……オスのフェロモン。

れろれろ、ぷちゅう、ちゅ、ちゅ。
お迎えしたいけど……れろれろ、れろッ、ぷちゅうう、ちゅ。
いまのアナタには、挿入はもったいないかな？

れろ、れろ、ぷちゅう、ちゅ、ちゅううう。
ちゅ……んん、ちゅ、ちゅううう、チュッ。
じゃあ……、
シコシコ止めて？

(主人公「へ？」)

早く。
お尻叩かれないの？

うふふ。
いい子。
れろれろれろ、ぷちゅ、ちゅちゅううう、ちゅ、んん。
むちゅんん、ちゅ、ちゅ、ちゅ、ちゅううううッ。

じゃあ——射精寸前の速度で、
しごいてみて？
あ……イッちゃダメだよ？

(主人公「で、でも」)

どうしたの？

言うこと聞けないの？

ふふ。それだよそれ。

れろれろれろ、ぷちゅうう、ちゅ、ちゅ、んんん、チュッ。

んん、ちゅ、ちゅくん、チュッ、チュッ。

ふはあ。

うふふ……。

苦しそうな顔……。

サディスティックに目覚めちゃいそう。

ステキだよ？

必死に耐えて、耐えて、イカないようにしてくれてるその顔……♥

イッちゃダメだからね～？

私は……責めるけど♥

れろれろ、ぷちゅうう、ちゅく、ちゅ。

ンんん、ちゅ、ちゅううう、ちゅくんん、ちゅ。

ちゅ、ちゅ、ちゅううう、ちゅ。

れろれろ、ちゅ、ちゅくううちゅ。

シコシコ、ストップ。

うふふ。

我慢したね。偉いね。

次は……手のひらで亀頭を包んでみよっか？

亀頭でシコシコしてみよう。

さっきよりもちょっと遅いくらいの速度でね。

……開始。

ふふふ。

それ、気持ちいいでしょ？

おちんぼ持ってないけど、

たまにそこ触ると……びくって腰引いちゃってるもんね。

だからわかる。

亀頭って、敏感なんだなあって。

あむう、ぷちゅ、ちゅ、ちゅくうう、ちゅ。

んんん、ちゅる、チュッ、んん、ちゅむ、んん、ちゅ……チュッ、ちゅっ。

ふう、んん、ちゅく、ちゅ、ちゅるるう、ちゅ。

はあ……はあ……んんぷふ、ちゅ、ちゅ。

んんん、ちゅる、ちゅ、ちゅ。

だいぶ、カウパー出ちゃってるね。

うふふ……吸ってあげたいな。

れろれろッ、ぷちゅ、チュ、ちゅ、ちゅるる、チュッ、チュ。

はあ、はあ……亀頭に吸い付いて、

ジュルジュル音立てながら……カウパー、飲み干したい♥

(主人公「そ、そんなこと……ッ」)

うふふ。

刺激しちゃった？

どうする？

もうムラムラ……抑えきれないんじゃない？

イキたいなら、懇願しよ？

あと数日間、挿入無しで私にひたすらもてあそばれること……。

口頭でいいから、了承してね。

(主人公「わかった……っ。それで、いいから」)

いいんだ？

うふふ。

あとはねえ……、

恋愛してもいいけど……セックスは、私だけに興奮すること。

私というブランドの価値を下げないこと。

アナタが簡単に飽きちゃったら、

真葉癒子の価値も落ちちゃうでしょ？

恋愛に勝てないような、

ただの性処理おまんこ扱いされるのはすっごい嫌。

セフレだけど、ちゃんと私に価値をつけて？

じゃなきゃ、もっとキツイお仕置きしちゃうよ？

(主人公「わかったから！」)

うふふ。

すぐに返答しちゃって……。

必死だね。

無様だね。

でも、そこが男の子らしくて愛おしい。

さ、思いっきりしごいて？

ザーメンまき散らそ？

はああああああ。

エッチだね。

こないだ、私のおまんこ擦ってた時の速度だ……♥

見せて？

ひとりでシコってる時の射精。

私、男の子のオナニーに興味あるんだ。

イク時はおもいきり……ね？

さ、出して？

学校をアナタのザーメンで濡らすんだよ♡
さあ♡ イッてっ♡

あっ……！
わあ……♡
どくどく、出てる♡

ああああ……♡
いつもより出てるねえ。
でも、出過ぎだよ……♡

これ、私のおまんこの時より出てるんじゃない？
ダメだよ。
おまんこの中より感じてちゃ。

(主人公「じ、焦らすから……ッ」)

うふふ。
焦らしのせいだって言うの？
それ、言い訳ね。

さて。
射精、停止。
もう出しちゃダメ。

うふふ。
気持ちよさそうだけど……ちょっと嫉妬しちゃった。
私のおまんこより、射精するのはダメだよ～。
ふふ。
調教はまだまだ、進めていかないとね。

●パート 6

●背景：癒子宅・部屋（夜）

お待たせー。

あ、座ってていいのに。

なんで立ってるの？

緊張してる？

ベッド、座っていいよ？

部屋に上がったの初めてだよね？

どう？

真葉癒子（まなはゆこ）の部屋は。

お化粧もナチュラルめだし、

香水もひとつのをこだわって使うタイプ。

唯一多いのは下着くらいかな。

気分によって下着替えてるの。

ちなみに今日はTバック。

さすがに学校には穿いていけないから、

Tバックの私と会えるアナタはラッキーだね。

（主人公「今日は……なんで呼び出されたの？」）

うふふ。もう本題入りたいの？

せっかちなあ。

プライベートの私を知ってほしかったのに。

今日はね？

オモチャで攻めてあげようかなって。

（主人公「オモチャ？」）

そう。オモチャ。

これ見て？

ローターとオナホ。
これ、アナタのために買ったの。
ちゃんとお店でね？

(主人公「女子高生だろ？」)

うふふ。うん。JKだよ？
でも大人っぽい格好すれば普通にお店で買えたよ。
ちゃんとアナタの顔を思い浮かべながら買ったんだ。
しっかり気持ちよくなってね。

さっそく……脱いでくれる？
ズボンごとね。

(主人公「セックスは？」)

セックス？
うふふ。挿入は無しって言ったでしょ？
これも調教なの。
わかって？

そう。
それでいいよ。

アハハ。勃起してるね。
偉いよ。ステキ。

うん。いい勃起……♪
ほんとはしゃぶってあげたいし、
おっぱいで挟んであげたい。

でも、仕方ないもんね。
まずは――

このローター、乳首つけようね。
シャツも脱いで？

いいね。

アナタが全裸で、私は制服姿。

変態的な雰囲気素晴らしいな。

じゃあ……

ローターつけるね？

チュッ。

うふふ♥

ローターはテープで固定ね。

片方だけね。

ふたつつけると、たぶんすぐイッちゃう。

(主人公「全然いけるし」)

うふふ。いけるんだ？

ならつけてあげるけど……、

大口叩いたんだから、ちゃんと我慢してね？

お言葉に甘えて——

これでいいかな。

落ちそうになったらちゃんと自分で貼るんだよ？

次は……四つん這いになって？

(主人公「四つん這いって？」)

ん？ わからない？

四つん這いは四つん這いだよ？

私もよくやってるよ。

バックの体勢。

おまんこでお迎えするあの体勢だよ。

恥ずかしい？
でもやってね。

うんうん。
いい格好だ。

顔を下に潜らせるとおちんぼいじめられてるところ見えるからオススメ。
私も、パンパン突かれてる時にたまに見えるんだ。
「ああ、こうやって突かれてるんだ〜」って、ゾクゾクするの。
うふふ。

じゃあ……、
四つん這いでお尻の穴丸見えだけど……、
このぶらぶらしてるおちんぼ……オナホに入れてあげるね？

ちょっと待ってね？
いい感じにヌルヌルさせてあげる。

さて。
このオナホの中に……おちんぼお迎えするね？

はああああ……♥
入っちゃった……♥

ヌルヌルのオナホはどう？
おまんこから遠ざかってるから……、
オナホの中でも十分気持ちいいよね。

(主人公「気持ちいい……」)

うふふ。気持ちいいんだ？
よかった。
気持ちいいのはこれからだけどね。
まずは――

ローター、オン。

そして……、

おちんぼも、シコシコ開始♥

んう……ふふ。

すごい、ヌチュヌチュするね。

私だっておまんこにお迎えしたいんだよ？

この部屋で……おちんぼにわからされたい……♥

ベッドの上なら寝バックできるもんね。

奥まで深く入るって聞いているから、

あれ……いつかしてみたかった。

(主人公「じゃあ、しょうよ」)

だーめ。

しない……笑

よそ見したらオナホちゃんが悲しんじゃうよ？

ちゃんと、オナホで感じてくれないと、

辱め甲斐がないよ。

(主人公「辱めたいのかよ」)

うん。辱めたい。

だから四つん這いにさせたの。

こうして……乳搾りみたいな手コキして、

んん……アナタを、恥ずかしがらせたい……♥

んう……ん、ん……。

ふう……ん……………。

うふふ。お尻の穴、ひくひくしてる？

舐めていい？

この……菊みみたいな形した穴……♥

いいよね？

レロレロレロレロレロ。

ぷちゅう、ちゅ、れろれろッ、んん、ちゅく、ちゅ……ッ。

れろれろッ、んぷぶうう、ちゅ、ちゅくうう、ちゅッ。

ガクガクしちゃダメ。

舐めづらいよ？

れろれろ、ぷちゅ、ちゅくうう、チュッ、ずずず。

れろ、れろッ、今日は乳首いじめられながら、

オナホでシコシコ♥ そのうえ、お尻の穴舐められながら射精するの。

快感の贅沢フルコースだね。

これなら挿入しなくても毎日楽しいんじゃないかな？

(主人公「そんなことない……ッ」)

れろれろっ、ぷちゅう、ちゅ。

違うの？ まだなにか欲しい？

れろれろッ、ちゅう、ちゅ、じゃあパンツ咥えさせてあげよっか？

れろれろッ、ちゅう、ちゅ、真葉癒子がおしっこした後に穿いたパンツとか、

アナタにはご褒美なんじゃない？

ちゅう、ぷちゅ、ンむん、ちゅ、ちゅ、れろれろッ。

お尻の中に……れろれろれろれろッ。

うふふ……ちょっとだけ、舌入っちゃうね。

れろれろれろッ、ちゅう、ちゅ。

んむむ、ちゅ、ちゅううッ。

もう震えちゃって……敏感だね。

なら、急ぎ足で感じさせてあげないと。

れろれろれろ、今日は焦らしナシ。

れろッ、ぷちゅ、ちゅううう、チュッ。

んん、ちゅく、ちゅ、ちゅううううッ。
ちゅ、れろれろッ、女の子の手には、
長時間のシコシコは結構キツいんだよね。

(主人公「バスケ部なのに?」)

うふふ。バスケ部でも、だよ。
バスケ部なんだと思ってるの〜?
ドリブルの動きと、シコシコの動きじゃ、全然別物だよ。

れろ、れろお、ぷちゅうう、ちゅく、ちゅうう、ちゅ。
んんん、ズズッ、ちゅ、ちゅくう、ちゅ。
れろ、れろ、ぷちゅ、ちゅ、ちゅうううう、チュッ。

(主人公「もうイッていい?」)

え〜……。
もうイクの?
焦らさないとは言ったけど……、
早漏になれとは言っていないよ?

れろれろ、ぷちゅう、ちゅ、ちゅく、ちゅ。
んん、ちゅ、ちゅ。

仕方ないなあ。
じゃあ、この後も愉しませてください?

(主人公「もちろん」)

うん。
わかった。
じゃあいいよ?
おちんぽイッて?

はあ、はあ……っ。
ローションでヌルヌルのおちんぽ……っ。

幸せにしてあげる。

ん、んう……ふうう、んく、ん……。
キンタマの中身、空っぽにしちゃダメ。
今日はまだつき合ってもらうから。

はあ……はあ……。
ほら、ザーメン出して……ッ！

あっ……！
はあ……はあ……はあ……。
イッちゃったねえ……。
うふふ……オナホの隙間から、ザーメン漏れてる。
私のおまんこと、どっちが気持ちいい？

(主人公「そ、それはもちろん……癒子の方が」)

ほんと？ 私なの？
でも、オナホは生なのに……私はゴム付きだよ？
それなら、前者の方が気持ちいいんじゃない？

(主人公「そんなこと、ないよ」)

うふふ。
私の方がいいんだ？
ありがとう♥

ローター、取っちゃっていいよ？
オナホも——

はあ～……♥
あん……シーツに垂れちゃった。

うふふ。疲れた？
四つん這いって、結構来るでしょ？
私もいつもあんな気持ちでパコパコされてるんだよ？

さ、乙女心もわかってもらえたところで、
次……直接責めてあげる♥
おっぱい、で♥

●パート7

●背景：癒子宅・部屋（夜）

それにしても……ローションと精液でヌルヌル。
カウパーもついてるかな。このおちんぼ。

ねえ、学校でできないことする？
調教のご褒美に、
ちょっとだけ——
甘やかしてあげるね。

（主人公「なにをするの？」）

なになって……上半身裸になってる時点で察して？
パイズリ♥

したことなかったよね。
着衣越しにはあったかもだけど。

（主人公「綺麗だね」）

ん？ ふふふ。そういえばおっぱいって、
そこまで見せてなかったっけ。
褒めてくれてありがとう。

乳輪と乳首の色と形のバランスがいいって、
女の子には評判なんだ。

このおっぱいで挟んであげる。
とりあえず仰向けに寝てから、
私の膝に足、乗っけてくれる？

ありがとう。
これでいいかな。
それとローション使っていい？
これをおっぱいに塗れば――

ん……。
テカテカのおっぱいも……悪くないね。

さ、このヌルヌルのおっぱいで、
事後のヌルヌルおちんぼ……挟んであげる。

んう～……。
はあああ……♥
さすがセフレ君……あんなに出したのにもうカチカチだ。

さっそく、抜いてくね。
ん、んう……ふう、ん……。
今日まで、何度か調教してきたけど……、
やっぱり、私も快感が欲しい。

んふう……んんん、ん。
オナニーじゃ足りないよ。
セフレなら、アナタが責任持って気持ちよくしてほしい。
私は、このおちんぼで気持ちよくなるって、決めてる。
ほかのおちんぼはお迎えしないんだからさ。

(主人公「調教はもういいの？」)

調教？
ん～……もうちょっと続けるつもりだったけど、
ん、うんん……さっき言った通りだよ。

責めるだけじゃなくて、
私もこうして……んん、気持ちよくなりたいってこと。

ふう……んく、ん、ん……。
んんん、ン……ん、うんん……ふう、ん……んく……。
ふう……んくッ、んん、ん……。

はあ♥
やっぱり、セックスって気持ちいい。

知ってると思うけど……学力も高いし、
正直、運動だってできる。

でも、それでいい点数とか上手にできても、
なにも満足できないの。

私が満足できるのは……アナタと、
こうして、気持ちいいことしてる時くらい……♥

特に、イカせてもらえた時が、
真葉癒子史上、最高に幸せの瞬間なんだよ……♥

ふう、ん……んん、んく、ん。
ん……はあ、ん、んく、ん……。

ちょっと、早めていい？
もっと擦られたい……♥

はああ……♥
さっきいじめた手前、言いづらいけど……、
んんう、このおちんぼ、好きだよ。

はあ、はあ……んん、ンくっ、ん。
気持ちよくて、幸せになっちゃうんだ。

ん、んう……ふう、ん……んく、ん……。

はあ……あ、ああ……んく、ん、んう。

私は、恋愛より快感が一番……♡

セフレ君なアナタが居てくれれば、恋愛は処女のままでいいや。

ふう、んんん、んく……ん、んっ。

それに……真葉癒子をメスにさせてくれるのは、
きつとアナタだけ……♡

んんん、ンッ、それにね、

セフレとして相性いいんだ。

私、アナタと会うとすぐおまんこ濡れる……♡

今日、体育で一緒に居た時も、

昼食一緒にした時も、

おまんこ濡れてたんだよ……♡

(主人公「それ、もう好きじゃん」)

好き？ うふふ、違うよ。

恋じゃなくて性欲……♡

煩惱で、アナタを愛してる♡

んんう、はあ……はあ……。

うふふ……おちんぼが脈打ってる。

キンタマの中でもうザーメン生成してるの？

ここでイッたらぶっかけだね。

あとで、ちゃんと拭いてこなくちゃ。

んう、ン……ふう、ん、んう……。

(主人公「ぶっかけていいの？」)

うん。ぶっかけていいよ？

ザーメンの熱、おっぱいと顔で味わいたい……♡

ということで、有言実行。

はあ……んん、んく、ん……ふう、んんん。

はあ……あ、んん、ん、ン、んう……。

ふう、んん、んく、ん……んん、ん……。

ふう……ん、ん、んくう、ん、んう……。

びゅる〜っと、ぶっかけて？

調教で焦らされて、いじめられて、

ストレス溜まったでしょ？

その苛立ちはおちんぼとキンタマに込めて……、

はあ、はあ……私を犯してっ♡

あっ……！

アッ……！ はあ、はああ……っ！

うふふ、すごい……♡

んんう、ん……はあ、あ、ああ……♡

熱くて、濃厚なザーメンが……こんなに、べっとり……♡

んう、はあ、はあ……ん、んく。

全部出して？

はあ……はあ……あんん、ん……んく、ん……。

ふううう、ん、く、んんう……。

これで、よし……♡

じゃ、一旦顔洗ってくるね。

さすがに精液臭い女の子とキスできないでしょ？

足、どけて？

(主人公「着替えていい？」)

着替え？

うふふ。なんで着替えちゃうの？

まだしたいから洗ってくるんだよ。

(主人公「なにをするの?」)

なにして……。

セックス♥

久しぶりに、おちんぼ入れたい♥

(主人公「え、でも……」)

どうしたの?

いや?

(主人公「ゴムは?」)

コンドーム?

ああ……なくてもいいよ。

ていうか、あえて持ってこなかったし、
今日、最初から生でするつもりだった。

いつもアナタが生を避けるから、
あえてコンドームのない状況を作ってたかったの。

(主人公「そこまでして……」)

うふふ。いいでしょ?

生って気持ちいいって聞ってるから。

大丈夫。

外に出せば。

じゃ、洗ってくるね?

●背景：癒子宅・部屋（夜）

見て？

全部脱いできちゃった。

パンツぐしょぐしょだった……笑

全部、アナタのせい♥

ちゅ、ん、ちゅ、ちゅ……ちゅる、ちゅ。

濡れてるから、すぐ入るね。

おいで？

股のあいだに。

おまんこに擦りつけてみて？

入れちゃダメだよ？

そう……♥

あっ……ん、んう……♥

あ、あ……ん、ん……。

ふう、んく、ン、ん……ふううう、ん、んんん、ん……。

（主人公「ほんとに、生でいいの？」）

ん？ うん、生でいいよ。

もちろん、射精は外にだけど。

ん……んく、ん……。

ふう、ん、いまは……擦りつけながら、

お互いを焦らし合お……？

ん……ふう、ん……あ、ああ……。

んく、ん、んう……んん、ん……っ。

（主人公「入れたい……っ」）

入れたい？
もっと懇願して？

はあ……ん、ッ、真葉癒子は、
自分からやらせてあげないの。
どこに入れたいのかちゃんと言って？

(主人公「おまんこに入れたい」)

おまんこに……ナニを入れたいの？

(主人公「チンコ……」)

チンコ？ うふふ。
でも……普通のおちんぽじゃないよね？
ちゃんと言って？
生おちんぽ、入れさせてって。

(主人公「生チンコ……入れたいです」)

よろしい♥
んぷッ、ちゅ、ちゅ、ちゅうう。
はあ、ん、んう……入れて♥
私も……生ハメ勃起おちんぽ、
ヌレヌレ愛液ずぶ濡れおまんこに入れてほしい……♥

んあッ……♥
あ、ああ……入った、入った……♥
ああああ……ッ。

ンンンン……ッ！
あっ……！
ああッ、はあ、ん、んう……挿入も、
時間かけてもらおうと思ったのに……一気に行っちゃった……♥

ん、ん……はあ、ん、ん……。
生、初めてだから……もうなんでもいいや……♡
ん、ん……んう……。

あんっ……♡
うふふ、本気セックス、始まった。
ん、んう……はあっ、ん、んくッ、ん……♡

久しぶりだから、今日はすごいイッちゃいそう。
はあっん、ん、ッ、ん、ねえ、アナタは？
調教期間、オナニーしてた？

(主人公「してないよ……溜めてたんだ」)

わあ。溜めてくれてたんだ？
ありがと……♡
やっぱり、セフレいるんだから、
性欲は、お互いのために在るべきだよね♡

はあっ、はあっ、んん、んくッ、ん。
ん……んんうう、んっ……はあっ、はあっ、ん。
お互いのためのセックス……♡
だから、私もマグロじゃられない。

れろれろれろッ、ぷちゅうう、アッ、ちゅう、ん、ちゅ、ちゅうう。
はあ、ん、ンくっ、ちゅく、んん、チュッ、チュッ。

うふふ、突かれながらだと、
んんんむ、ちゅ、ちゅ、んん、舐めるの、大変だ……チュッ、チュッ。
あんッ、ん、んくッ♡

今日は、奥の奥まで届くね……♡
ちゅ、ぷちゅん、チュッ、アッ、あっ。
はあ……あぷんん、チュッ、ちゅる、ちゅく、ちゅッ。

あうッ、ん、ンッ、んううッ♡

チュッ、ちゅッ♥

(主人公「お、俺……ッ」)

ん？ 何したの？
苦しそうな声あげて。

(主人公「もっといい？ スピード」)

早く動きたいんだ？
ならいいよ？
頑張ってね。

あああ……ッ♥
んん、ちゅ、ちゅくう、ちゅッ、アッ、ああっ。
ちゅ、ちゅむう、おちんぽすごいパンパン♥

ああっ、ちゅ、ちゅくう、チュッ。
はあ、あん、ちゅ、ちゅッ、んんん、ちゅる、チュッ。

はあ、あっ、ああっ、んぷ、ちゅ、ちゅううッ。
ううう、んくッ、ちゅ、ちゅうう……ッ♥

あんっ、ンッ、はあっ、ん、ん……ッ。
どんどん熱くなってく……ッ♥

(主人公「我慢できない！」)

え？ ちょっと待って？
我慢できないって――

あああああ……ッ♥
待って……！
あんッ！ ん、んく、ん、んうううッ！

あああああ……ッ！

それすごいッ、ああッ！
息できないよおおお……ッ！

ああああああッ！
待って！

(主人公「出るッッ」)

待って待って！
イクなら外だよ！
中はダメ……ッ！
あああああああ……ッッ！

ンンンンンッ！
ちょっ——あああ……ッ♥
中にッ、アッ、も、もお……ッ！

イケナイ子……ッ！
アッ、アアッ♥
はあっ、はああ……ッ♥

調教したのにッ、全然、耐久力身についてないね？
はあ、はああ……ッ。

この……ダメチンポ♥

(主人公「ご、ごめん」)

中出しは、簡単に謝る程度じゃ許されないんだよ。
もお……男の子は中出しに夢見過ぎ。

デキた時は、セフレの関係は越えてもらうからね？
アナタの人生、一生分貰うから。

(主人公「ごめん……」)

うふふ。
謝らないで。

なら責任とって……もう一回、シテ？
気持ちよかったから。
まだビンビンなんだから……動けるよね？

ンンン……ッ！
そう……ッ♥
あっ、ん、んう……♥

はあっ、はああっ、あああっ、んく、ん、んうう……ッ♥
それッ、んうう……気持ち、い……ッ♥

はあっ、はっ、アッ♥ んッ♥
ザーメンで、ぶちゅぶちゅのおまんこって、
初体験だよね……。

はっ、ん、ん、こんな感じで、
熱くてッ、不思議な感触するんだね……っ♥

んくッ、ん、アッ♥ はあっ、ん、ッ♥
ねえ？
今日は、アナタからキスして？

んっ！
チュッ、ん、ちゅ、はっ、はあ、れろ、れろッ、ぷちゅう。
ちゅ……んん、ちゅく、ちゅ、ちゅううう……ッ。

あああッ♥ 舌を絡めたら、
すごい、ぽかぽかするね……♥

はあっ、ん、んうッ、恋人のキスって、
こんな感じなのかな……？

れろれろれろ……んぷうう、ちゅ、ちゅうう。

ちゅッ、はあっ、ん、チュッ。

はあ、はあ……♥

いまの真葉癒子、最高にメスの顔してた……♥

はあ、はあっ、んん、んく、ん……ッ。

あああ♥

トドメ、そろそろ刺す？

れろれろれろッ。

ぷちゅうう、ちゅ、もうすでに、
色んなおつゆで、私の子宮はべとべと……♥

ぷちゅう、ちゅ、ちゅくうう、ちゅ、ズズッ。

さらに、ザーメン流し込んで、真葉癒子を支配しちゃう？

(主人公「支配していいの？」)

うふふ。

自信あるの？

快樂墜ちしないけど……、
シテみる？

墜ちたら、つき合おっか？

真葉癒子以外に興味なかったけど、
ん、んう、アナタならいいよ？

れろれろれろッ、ずずずうッ。

ちゅ、ちゅううううッ、チュッ。

イッて？

私もイク♥

んんんんッ！

はあっ、あ、あああ……ッ！

んくうううッ、あ、あああッ！

はああ、はあ……あ、ああああッ♥
それ気持ちいいッ、んんん、んくッ♥

はあ、ッ、はあああッ、あ、ああッ♥
ん、んく、ンんんんッ、んんううう……ッ！

ザーメン注いで？
骨抜きにしてよ♥

ああああッ♥
私も限界だよッ♥
ザーメン出してねッ♥
支配してえッ♥
んう〜〜〜〜ッ！
イクイクイクううう〜〜〜〜……ッ♥

ひゃンんう〜〜〜〜……ッ！
アアアアア……ッ♥

はあああ……はあああ……ッ♥
ンくっ、あ、あああ……♥
はああ……はああ……んく、ん、んう……ッ♥
アッ♥
どくどく、まだ、来てる……ッ♥

セフレなのに、種付け願望あるの？
んっ、んう……でも、男の人の支配されるの、悪くない……♥

はああ……はあ……♥
それにさ……んうッ、ん……、
生おちんぼが子宮で跳ねてる感触……気持ちいいね……♥

んう……はあ、あ、ああ……♥
んく、ん……んう……はあ……はあ……。
ああ、んく、ん……んう……ん……。

たくさん、出してくれてありがとう。

いま、初めて私の中で……真葉癒子が、
アナタの存在に負けた……♥

墜ちてはないけど——

ちゅふう、ちゅ、ちゅうう、ちゅ。
気持ちよかった……♥

はあ、はあ……おちんぼ抜いて？

(主人公「なんで？」)

いいから。
ね？

あああ……♥
ザーメン、どろどろだね。

あむうう、ちゅ、ちゅ、ぷちゅうううう。
ズズズッ、ちゅ、ちゅるるる、チュッ、チュッ。
ふはあ。

おちんぼ、お疲れ様。
綺麗にしちゃった。

ふう……♥
中出しは予想外だったけど、
これで……深い絆で結ばれたと思ってるよ。

さすがに、中出しできる女の子を、
簡単に手放したいなんて思わないでしょ？

(主人公「ご、ごめん。次から気をつける」)

うふふ。気をつけてくれるの？
いいよ。これからも中出しして。

私も中出し願望あったから。
うふふ、それに……真面目なアナタが、
勢いあまって射精したあの暴走具合……すごくそそった……♥

でも残念。
まだ支配されてないし、墜ちてないよ。
これからも、セフレとしてよろしくね。

たくさんイカせて、蕩け合って、
いつか……私に恋させてみてね。